

2026年度前後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	総合実習事前・事後指導	授業 形態	講義・演習・ 実習	学科・年次	OT・4年
				曜日・時限	不定期
担当教員	杉野潤也・石田敦子・伊藤大貴・村谷澄哉				
授業概要	総合実習に必要な知識・技術・態度を身につけられるように指導する				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・総合実習に必要な知識を習得し、国家試験同等の問題が理解できる ・模擬的な対象者評価場面で必要な技術・態度を身につける ・実習終了後に振り返りを行う事で、臨床思考力を高める 				
回数					担当教員
1回目	OSCE対策 オリエンテーション、OSCEデモンストレーション				杉野・石田・伊藤・村谷
2回目	OSCE対策 実技練習				杉野・石田・伊藤・村谷
3回目	実習書類の確認・作成				杉野・石田・伊藤・村谷
4回目	OSCE対策 実技練習				杉野・石田・伊藤・村谷
5回目	OSCE対策 実技練習				杉野・石田・伊藤・村谷
6回目	OSCE対策 実技練習				杉野・石田・伊藤・村谷
7回目	OSCE対策 実技練習				杉野・石田・伊藤・村谷
8回目	OSCE対策 実技練習				杉野・石田・伊藤・村谷
9回目	SV会議				杉野・石田・伊藤・村谷
10回目	OSCE対策 実技練習				杉野・石田・伊藤・村谷
11回目	OSCE対策 実技練習				杉野・石田・伊藤・村谷
12回目	OSCE対策 実技練習				杉野・石田・伊藤・村谷
13回目	OSCE対策 実技練習				杉野・石田・伊藤・村谷
14回目	OSCE対策 設営				杉野・石田・伊藤・村谷
15回目	共用試験対策				杉野・石田・伊藤・村谷
16回目	共用試験対策				杉野・石田・伊藤・村谷
17回目	共用試験対策				杉野・石田・伊藤・村谷
18回目	共用試験対策				杉野・石田・伊藤・村谷
19回目	共用試験				杉野・石田・伊藤・村谷
20回目	共用試験				杉野・石田・伊藤・村谷
21回目	実習報告会				杉野・石田・伊藤・村谷
22回目	実習報告会				杉野・石田・伊藤・村谷
23回目	実習報告会				杉野・石田・伊藤・村谷
教科書及び 参考書	理学療法士作業療法士国家試験必修ポイント2026 「基礎OT学」「障害別OT治療学」/医歯薬出版株式会社				
成績評価	共用試験 50% OSCE 50%				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
臨床実習で患者様を対応させて頂くレベルに達しているかを判断する為に、知識面では共用試験を行います。また技術面・態度面では外部講師を招いたOSCEを行いますので、しっかりと準備して有意義な臨床実習になるように備えましょう。					

2026年度 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	総合実習	授業形態	講義・演習・ 実習	学科・年次	OT・4年
				曜日・時限	不定期
担当教員	杉野潤也・石田敦子・伊藤大貴・村谷澄哉				
授業概要	臨床実習前に実習生の技術等に関して、OSCE、共用試験等による評価を行い、直接対象者に接するに当たり、総合的知識及び基本的技能・態度を備えていることを実習事前指導にて確認する。 実習期間中は実習生が診療チームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導・監督の下で行う作業療法参加型臨床実習を基本とする。				
学習目標	①倫理観や基本的態度を身につける ②許容される臨床技能を実践できる ③臨床実習指導者の作業療法の臨床思考過程を説明し、作業療法の計画立案ができる				
回数					担当教員
実習前	実習前OSCE・共用試験 知識、技術、態度の確認を学校内で行うことにより実習に必要な能力の到達度を確認し、実習までに必要な知識、技能、態度を修得して実習に送り出す。また、本人の得意分野、苦手分野を明らかにし臨床実習指導者と共有する事で、本人の臨床実習中の成長に役立てる。				OT教員
実習	<ol style="list-style-type: none"> 実習期間 1期:令和8年5月11日(月)～令和8年7月4日(土) 2期:令和8年7月20日(月)～令和8年9月19日(土) ※総合実習の時間数:240時間 実習方針 対象者の為に臨床実習指導者の助手となり、作業療法学生としてもてる力を尽くす 実習中課題 デイリーノート、ケースノートを作成し提出する(課題量に応じて調整可) 実習報告会資料(症例報告) ※その他、臨床実習指導者が必要と判断したもの 評価方法 臨床実習指導者による学生の実習経験状況評価 デイリーノート、症例カルテなどの提出物評価 多職種、指導者以外による学生評価(360度評価) 患者さんからの感想 出席率(遅刻、欠席など) アンプロフェッショナルな行動報告書 実習計画 実習施設は作業療法士が勤務している医療機関及び施設とする。 実習は原則として、1週間のうち5日間(1日8時間)で、自宅学習時間も含めて45時間とする。 				臨床実習指導者
実習後	実習報告会を実施 ・実習で学んだことをまとめ発表する事で知識を整理し理解する。 ・知識を共有する事で、様々な分野の情報を得る。				OT教員
教科書及び参考書	実習手引き				
成績評価	実習中評価:50% 実習報告会:50%				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>総合実習では作業療法学生として、臨床の先生方の担当患者さんの一部を担って面接～治療までを行っていきます。やりがいを感じる部分と同時に 実習中に多くの経験をするには、それに見合う準備が必要となります。</p> <p>また実習中だけでなく、実習後において臨床実習で必要な能力を身につけ、卒業後に臨床に出て患者様に医学的的行為が行えるレベルに到達しているかを報告会と実習後OSCEで判断します。臨床で経験した事考えた事が役立てられるように、積極的な姿勢で実習に望んで下さい。</p>					